

令和7年度

こども・若者等デートDV、性暴力防止啓発講座・研修 ご案内

「デートDV」—— 恋人間に起きる暴力 ——

10代カップルでは約4割に被害経験があるという調査結果(※)もあるなど、デートDVはとても身近な問題です。10代のうちに防止啓発することで、デートDVの被害と加害に気づき、デートDVをなくしていくことができ、DVや虐待という暴力の連鎖を断ち切ることに繋がります。

(※) 全国デートDV実態調査 2016年10月～12月 認定NPO法人エンパワメントかながわ

デートDV防止のための両輪 「防止啓発」と「相談支援」

防止啓発

誰もが「デートDVの被害者にも加害者にも傍観者にもならない」ようにしていくこと

3本の柱

「暴力への気づき」「対等な関係の学び」「ジェンダー平等」

デートDVの被害者にも、
加害者にも傍観者にもならない

暴力への気づき

対等な関係の学び

ジェンダー平等

県では講師を派遣し、デートDVや性暴力の防止啓発に取り組んでいます。

- ・各高校や大学等において、課外授業や人権啓発講座を開催する場合
- ・各中学校・高校や各市町（学校組合）教育委員会等において、教職員を対象とする研修を開催する場合

○会場及び費用

県内の学校であればどこへでも伺います。会場は、学校の教室・体育館や近隣の公民館など貴校においてご用意ください。**講師派遣にかかる旅費や報償費等の費用は一切かかりません。**県が負担します。オンラインでも対応できます。

○事業実施期間

令和7年5月～令和8年2月

※応募締め切り：開催希望日の2か月前までにご応募ください。

※応募多数の場合は、当課で調整させていただきますのでご了承ください。

○お申込み方法

別紙申込書に必要事項を記載し、メールにより下記までお送りください。

ご不明の点があれば、お気軽に電話でお問合せください。

【申込み先・問合せ先】

愛媛県企画振興部政策企画局 少子化対策・男女参画課

〒790-8570 松山市一番町4丁目4の2

電話 (089) 912-2332 FAX (089) 912-2249

e-mail: shoushikadanjo@pref.ehime.lg.jp

学校（生徒・学生）向け デートDV、性暴力防止啓発講座



○講座内容・講師(例) ※内容や開催時間ご希望に応じますので、ご相談ください

内容（例）	講 師	時間
「DV（デートDV）とは」 「幸せに生きる権利」 「互いが対等な立場で尊重できる関係になる」 「性暴力～加害者・被害者にならないために～」 「相談できることを知ろう」 「暴力のない私たちの未来」など	・愛媛県男女共同参画センター職員 ・愛媛県 DV 防止対策推進会議委員 ほか、講師多数	50 分 ～ 90 分

○当日の流れ（例）

（50 分の場合）

【ねらい】

今、社会で起こっている DV や性暴力等の人権侵害が起こるメカニズムを理解し、お互いを尊重する関係について考える。そして、自身がそのような状況になったときや友人から相談を受けた時の対応を学ぶ。

【内容】

〔40 分〕講義（デート DV、DV、性暴力、ジェンダーバイアス、男女共同参画社会の構築）



デートDV未然防止啓発用映像資料（令和元年度作成）



高校生のための DV 未然防止講座資料（令和2年度作成）

○講師よりひと言

社会に踏み出す前に、恋人に出会う前に知ってほしいこと、考えてほしいことがあります。
社会で活躍する自分、素敵な恋人と過ごす毎日。そのはずですが、何だかうまくいかないことがあります。
社会的・文化的に作られた性差（ジェンダーバイアス）について学び、気づき、乗り越えていく力を皆さんに培ってほしい。
皆さんの時代が、本物の男女共同参画社会になりますように。

講師 越智やよい氏

（えひめ女性財団理事長、元 県立高等学校校長）

仙波 純子氏

（えひめ女性財団常務理事、愛媛県男女共同参画センター館長） ほか



○受講した生徒の声

暴力などはデートDVになると思っていましたが、携帯電話の中身など内容チェックなどはデートDVになると思いませんでした。今後、男の人との交際がありDVに関わるような事をされそうになったり、されたりしたら声に出して嫌な事は嫌と言えるようにしたいです。

DV にもいろいろな種類があることを知りました。これから誰かと交際することになったら、今回の講座を生かして行こうと思いました。

初めてこのような話を聞いて良かった。デート DV のことをもっといろんな人に聞いてもらいたい。

講演を受けて自分は意識していなくても気づかいうちに加害者にも被害者にもなる可能性があること知れてよかった。

デート DV について聞いたことはありましたが、実際にどのようなことがデート DV になるのか知らなかったのので、この講演会でデート DV について知ることができて良かったです。知っていたらとても役立つので将来の知識として身につけたいと思いました。



○令和6年度の実績、アンケート結果

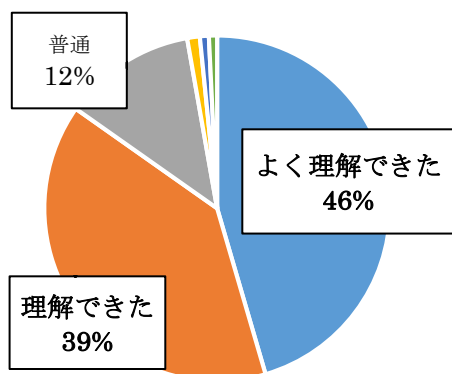
講座実施校数(高校、大学・短大のみ)

13校(令和5年度 20校)

受講人数

2800人(令和5年度 3486人)

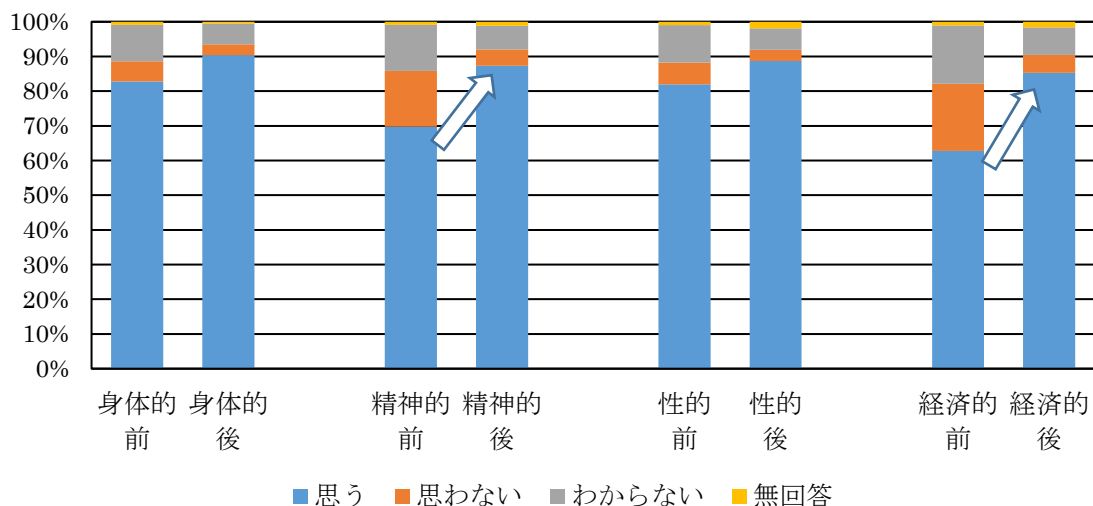
受講後のアンケート結果



よく理解できた	45.5%
理解できた	39.3%
普通	12.4%
あまり理解できなかった	1.2%
理解できなかった	0.8%
無回答	0.8%

8割以上の生徒が「理解ができた」と回答しています

受講前後の暴力の認知度



受講前は、特に精神的暴力と経済的暴力の認知度が低い。

講座を通じて生活のあらゆる場面に暴力が存在することを知りきっかけになります。

教職員（中学校・高校）向け デートDV、性暴力防止啓発研修



○講座内容・講師(例) ※内容や開催時間をご希望に応じますので、ご相談ください

内容(例)	講 師	時間
『生命(いのち)の安全教育』で性暴力の根絶を目指す 「校内で被害者、加害者、傍観者を作らない教育と啓発」 「DV、性暴力防止教育の効果的な進め方」など	・愛媛県男女共同参画センター職員 ・愛媛県DV防止対策推進会議委員 ほか、講師多数	60分～ 90分

○当日の流れ(例:90分)

【ねらい】 今、社会で起きているDVや性暴力等の人権侵害が起こるメカニズムを理解し、学校内で暴力が起こった時の対応を考え、早期発見と防止、社会的支援を理解する。また、ジェンダー平等の現状について理解し、男女共同参画社会の構築について理解を深める。

【内容】

[60分] 講義(DV未然防止教育の必要性/県内の相談状況/学校で性暴力が起こったら/関係機関との連携/ジェンダーギャップと男女共同参画社会の構築)

[20分] ワークショップ(対等な関係を作るための「Iメッセージ」と「Youメッセージ」等)

○講師よりひと言

若い世代に関わる皆さんに、男女共同参画社会の現状、特にジェンダー平等についての情報をお届けします。

現在、社会で起きている男女間の暴力や、性犯罪への対応を自分事として受け止め、加害者、被害者そして傍観者にならない生徒・学生を育てることが社会を変えていく大きな一歩になると考えています。

一緒に社会の現状と大人の役割を考えてみませんか。

講師 越智やよい氏

(えひめ女性財団理事長、元 県立高等学校校長)

仙波 純子氏

(えひめ女性財団常務理事、愛媛県男女共同参画センター館長) ほか



○参加者からの声

スマホなどの機器の進歩により、新たな性被害が出ていること、子どもに対して知らず知らずのうちにジェンダーバイアスが刷り込まれ、支配関係が植えつけられていくのだと怖い気がしました。

(県立高校 教員)

DVは身近で起きている問題ですが、この問題に対する知識を十分に持っていないことに改めて気が付きました。自分ができることは何か、普段から情報を集め、生徒に正しく伝えていきたいです。

(特別支援学校 教員)

DVについて、これまでの自分の常識を覆されたくらいに、初めて知る内容がたくさんありました。とても貴重なお話を伺うことができました。特に講師の先生が実際に生徒に対して行っている講義についてのお話が具体的で分かりやすかったです。

(養護教諭キャリアアップ研修参加者)

デートDVは身近に起こりやすいこと、また、性暴力は表面化しづらいことから、養護教諭の立場として、早期発見に努めるとともに、生徒自身が自分や周りを守るために必要な正しい知識や感覚を身に付けさせることが重要であると感じました。

(養護教諭キャリアアップ研修参加者)